

The Episode of Oil Massage②怪我の功名

体質研究所主宰 松原秀樹

私が開業して間もなくのこと。今まで勤めていた店で、いつも私を指名してくださった女性から、電話をいただいた。後に日本生命の高田馬場に30歳から80歳まで50年勤続して、社長から表彰された人だ。

彼女が退職する数年前、帰宅中にバスから降りるときに足を踏み外して、階段から落ちた。左ヒザを強かに打って倍ほどの太さに腫れあがって、ヒザをまったく曲げられなくなってしまった。整形外科では、「もう歳だから治らない」と言われた。それで私に電話がかかってきた。

すぐにマッサージオイルと温熱ベルトを持って、市川のご自宅に行った。脚にオイルマッサージしてあげて、「とにかく日に何度もこのオイルを擦り込んでください」と説明した。彼女は、寝室と洗面所、そして銭湯にそれぞれ一本ずつオイルをおいといて、一日に何度もヒザにオイルを擦りこんで、温熱ベルトをヒザに巻いて毎日30分温めた。夜中に痛くて目が覚めたらオイルを擦り込んだ。

すると1ヶ月ほどで腫れが引いて、2ヶ月で完治して正座までできるようになった。

すごく感謝されたのは言うまでもない。そして、こんなことを話してくれた。「見て！左脚と右脚で、皮膚が全然違うでしょ。痛めて毎日オイルを擦り込んでいた左脚は、こんなにキレイになっちゃった！このオイルは皮膚をきれいにする効果もあるの？ そうだと知っていたら、他の箇所にも擦り込んだのに…」これが、怪我の功名？

こんな例もあった。年配の女性が食道で転んで、テーブルの角に頭をぶつけて、額を切ってしまった。3針ほど縫わないといけなくらいの傷だったのだが、ヒマシ油の効果を知っていた彼女は、縫わずにヒマシ油だけで治した。

どうせ毎日何度もヒマシ油を額に塗るのなら、「顔もついでに」と顔全体をマッサージした。すると傷が治る頃には、すっかり顔のシワがなくなってしまった！

5年ほど前のこと。当時58歳の女性が、犬を抱きかかえたまま階段から落ちて、顔面を柱の角に強かに打ちつけた。右の頬骨の箇所が大きく腫れ上がった。整形外科で診てもらったら、「骨折はしてない。全治3週間から1ヶ月」と診断された。

彼女は、毎日何度もヒマシ油と#5をたっぷり頬に擦りこんだ。するとわずか3日で腫れが引いて、かすり傷程度になり、たった1週間で完治してしまった！

この女性の素肌はもともときれいだが、怪我する前よりさらにきれいになった。